

# 祖父・牛島満と沖縄戦

牛島 貞満

## 0.はじめに

「私たちが暮らす地域が、戦場になることを想像したことがありますか？」

想像でなく、地球の裏側で現実になりました。テレビに映し出されたロシア軍のウクライナ共和国への侵略での悲惨な現実には驚かされた。いかに「軍勢力・武力による平和維持」が危ういのかということを表している。  
(資料作成日 2022 年 3 月 15 日)



① 沖縄島南端にある平和の礎

## 1. 沖縄県平和公園内にある平和の礎の 2 人の名前

(1) 屋宜 和子さん(沖縄県 当時 0 歳、4 歳の兄がいた。

お母さんは 安里 要江 さん = 当時 24 歳)

(2) 牛島 満 (鹿児島県 当時 57 歳 沖縄守備隊

[第 32 軍] の司令官)

(3) なぜ沖縄が戦場になったか【米軍の立場】

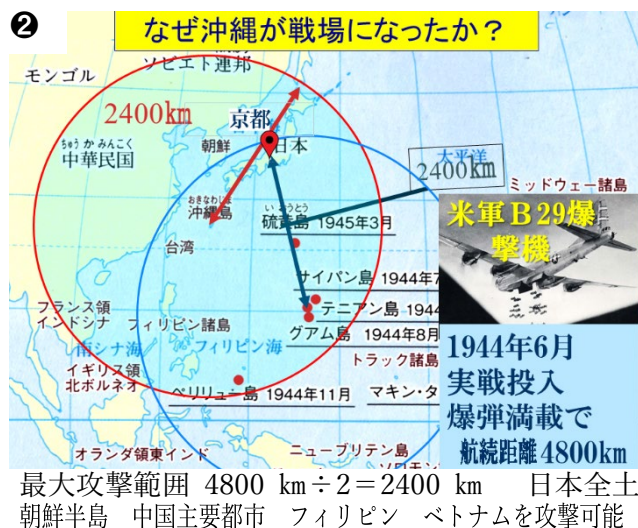
⇒ 沖縄に米軍の航空基地ができれば、日本全土を含む広範囲の空襲が可能になる。

(4) 数字で見る沖縄戦 沖縄戦での日米軍の戦力

比較 p5-6 参照

(5) 「鉄の暴風」とは？

花火と砲弾 何が違う？



## 2. 住民から見た沖縄戦

(1) 屋宜 和子さんのたどった運命

安里 要江 さんの沖縄戦体験 (1999 年インタビュー)

(1945 年 4 月当時 24 歳、和子さん = 6 か月と 宣秀 さん = 4 歳の母親)『沖縄戦 ある母の記録』(1995 年高文研刊)

質問①「安里さんは、どうして疎開をしないで、日本軍について行ったのですか？」



安里 要江 さん

### 1944 年沖縄戦が始まる前

中国の方から沖縄に日本軍が駐屯してきた。沖縄を守りに来たと思った。ああよかった、助ける人が来たという感じで、「良かったねえ、沖縄守ってくれるんだね。(日本の)兵隊が来れば、ここに敵が来ないということ。アメリカの兵隊の捕虜になったらダメだって、これが一番怖かったです。アメリカの兵隊が上陸してきたら、(女性)は暴行を受けるとか、子供たちを股裂きにするとか、男は戦車の下敷きにするとか、こういうことしか、私たちは教えられていません。この恐怖でもって「逃げよう」と思いました。

中縄戦が展開されて、3月23日、米軍の艦砲射撃が始まった時に一番頼りにしたのは兵隊だった。番頼りにしていた(日本軍の)兵隊が、陣地で(私たち住民の避難を)指揮していないですね。「どこに動なさい」とか、こういうのはあんまりなかったです。

説明：安里さんが逃げたルート。4月1日アメリカ軍読谷海岸に上陸。和子さんら家族・親戚20人で南へ逃げる。4月29日アメリカ軍南下。途中で艦砲の集中攻撃にあう。6月1日砲弾の飛び交う中、さらに逃げるが壕に入れない。次々と家族が亡くなる。6月6日、兄嫁被弾で死亡。8日実母死、長男宣秀被弾。9日義母死。10日義父死。道には遺体が転がっている。

どこか空いている防空壕がないか、空いている石穴がないか、自然のガマがないかということで、もう捜し求めてやっとの思いで「姉が、ああ向こうに壕らしきものが見えるよ、要江さん」(と言った。)

行ったところがね、軍隊ですよ、日本の軍隊。怖いと思わなかったから、気安く助けてもらえるという意味で、そこの前に立ちはいなかった、私たち。中から 鉄兜を被って軍服をつけて軍靴をはいてパカパカと(日本軍の兵隊が)出て来た。

「お願いします。この子たちだけでもいいから、この防空壕の中に避難させてくださいませんか」と言い終わらないうちに「馬鹿野郎」ですよ、「馬鹿野郎、君たち(住民)がここに居るから(追い詰められて)戦争はこのようになっているんだ。出て行け、出て行け」と、私たちにずっと連発した。

出て行けならいいですよ。「そこに立っていたら、敵の電波探知機に探知されて、集中攻撃を喰らうよ」と。もうこの言葉がね、何かしら私たちには信じられないんです。あれほど私たちが頼りにしてきた日本の兵隊(友軍)出ない、悔しさだけでいっぱいでした。



轟の壕の中は天井の高さがものすごく、人間が立っても上(天井)をつかむことができないぐらい(の高さで)、ガマが開いていた。とにかくその中に入ったら入り口にいたおじいさんに「そこには友軍がおりませんか」ということ、これを聞きました。おじいさんは「居るよ、居るよ。中に入ったらね、右側に横穴があるから、そこに入ったら日本軍、友軍がいるから、ここを通るときはそうっと通りなさい。静かに通りなさい」と教えてくれた。

でも中でも友軍は悪いことをしましたよ。友軍は「みんなの前まで来て、着剣をして ガチャガチャと、壕の壁は岩盤ですから音を立てるようにして、「沖縄の皆さん子供を泣かすな、子どもを泣かすと殺してやるぞ」と言った。それが一番の恐ろしさでした。子ども泣かないでよ、泣かないでよ、兵隊、あれまでも兵隊さん付けです。兵隊さんに殺されるから。和子ちゃんも戦場の中を駆けまわるときは、背中に負ぶって、ひた走りに走ってここまで来ました。



やっぱり壕の中に入ったら、落ち着いて子供を抱っこする時間があるので、すべて抱きしめています。肌身離さずに、この子だけは守らなきゃいけないと。せっかくここまで生きのびてきたにもかかわらず、私の母乳はカラカラ。本当に一滴も出なかったんです。そして乳房を口に当てても冷たい感じがしたのは、私はびっくりでした。もうみるみるうちに、和子ちゃんはガマの中で餓死なんです。これが 16 日ぐらいだったと思います。一点の 灯りもない中で、私の和子ちゃんは、私の手のひらの中で、息を引きとる。苦しかったですね。

でも、まさかアメリカの兵隊がここ(轟の壕)まで来て、私たちを……捕虜にして救出するとは夢にも思っていませんでした。

説明：轟の壕の周辺は地上の木々が砲弾ですべて吹き飛ばされた。すり鉢型をした壕の深いところの出入り口から、丸腰の米兵に手助けされながら、続々と子供、老人、女性などの住民が救助された。安里さんの家族は、和子ちゃん(8 か月)死亡、夫=宣佑さん(27 歳)収容所で 8 月 12 日死亡、宣秀ちゃん(4 歳)収容所で 10 月 1 日死亡。一緒に逃げた 20 人の内、11 人が沖縄戦で命を落とした。

証言①「米軍の捕虜になると、女は暴行を受け、子どもは股裂きをされ、男は戦車に下敷きにされる」と教えられていたが、間違っていた。

証言②沖縄戦が始まって、日本軍は住民を守らなかった。

### 3. 牛島満はどんな人

- (1)宮城 喜久子<sup>みやぎ きくこ</sup>さん (1928-2014 年 元ひめゆり学徒隊・当時 16 歳・津嘉山<sup>つかさ</sup>の経理部壕に配属され、牛島に壕の中で会い声をかけられた。)
- (2)家族にとっては
- (3)司令官の主な役目

**⑥ 第 32 軍司令官 牛島満はどんな人？**

**家族にとって**

- ①子ども好き
- ②怒らず優しい
- ③お酒が弱く、料理が好き

**軍司令官の役目**

- ①作戦を決定する
- ②戦争を始める
- ③戦争を終わらせる

### 4. 日本軍(第32軍)の沖縄戦

- (1)大本営と沖縄守備隊(第 32 軍)の沖縄戦の方針
- 「持久戦=皇土(本土)の防波堤=本土決戦準備の時間かせぎ」

- ①東京都皇居から長野県松代に大本営を移すために巨大な地下壕を掘り、天皇、皇族の住居、宮内省、政府、大本営・陸海軍部、NHK などに移転するための工事
- ②鹿児島・東京湾湾岸要塞(千葉県館山等)の建設、各地の本土決戦に向けた基地作り

### ⑦ 本土決戦の準備

**松代大本営**

松代墓山地下壕島瞰図  
地上御座所

**東京湾岸要塞**

千葉県館山市  
海軍「震洋」特攻艇

爆弾

## (0)矛盾する大本營の命令

- ・4月1日米軍は、 沖縄島読谷海岸に上陸。その日に北(読谷)・中(嘉手納)飛行場を占拠
- ・第32軍には、大本営からの作戦変更指示 持久戦⇒攻勢
- ・**第32軍**：攻勢大失敗⇒兵力の2/3を失い⇒「持久戦」
- ・**大本営**：攻勢の命令は変えず「攻勢」のまま

⑩ 5月末の日米両軍の戦力

アメリカ軍

日本軍

日本軍の死者  
約6万4000人

約5000人

米軍の死者・行方不明者

米軍 残り  
約53万5000人

日本軍 残り  
約4万6000人

【情勢】4/8、5/4の日本軍(第32軍)攻勢により、兵力の2/3(約6万4000人死亡)を失った。米軍の死者は約5000人。沖縄戦が始まって約50日、米軍は、司令部のある首里城の近くまで迫った。

- ①首里でそのまま戦う(首里持久戦)  
②南部に下がって戦う(南部撤退)

⑧ 大本営と第32軍の作戦

```
graph TD; A["天皇 (大元帥)  
大本営"] --> B["第10方面軍"]; B ==> C["第32軍 生島司令官  
沖縄守備隊"]; A --> D["第31軍"]; D --- E["..."]; E --> F["第1軍"]
```

天皇 (大元帥)  
大本営

第10方面軍

第32軍 生島司令官  
沖縄守備隊

第31軍

第1軍

持久戦 = 皇土（本土）の防波堤  
= 本土決戦準備の時間かせぎ

9 沖縄に日本軍が来た  
本当の理由を知っていた人達

3 2 軍を指揮した将校たちの写真

**⑪ 大本营と第32軍の作戦**

兵力の2/3を失う

**攻勢大失敗**

天皇(大元帥) 大本营

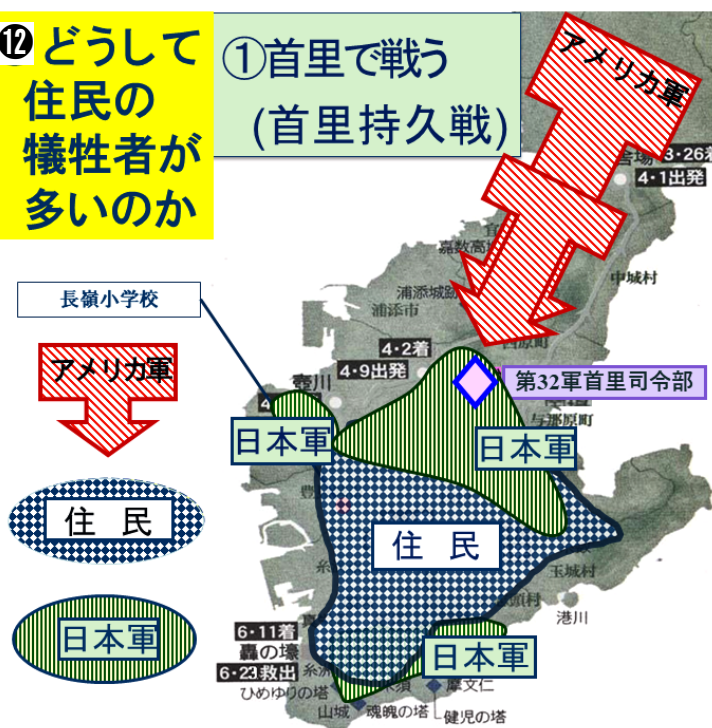
第32軍 牛島司令官 沖縄守備隊

攻勢に出る → ~~持久~~

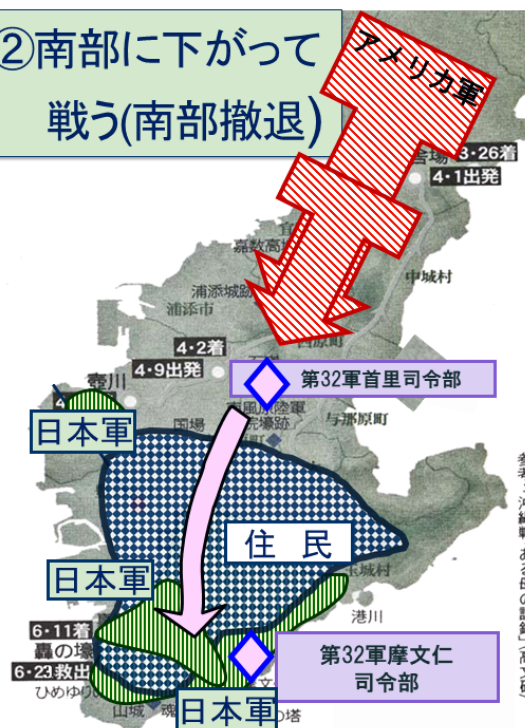
① 飛行場を奪い返せ  
② 敵に出血させよ

持久戦	持久戦
攻勢	攻勢
持久戦	攻勢

①首里で戦う  
(首里持久戦)



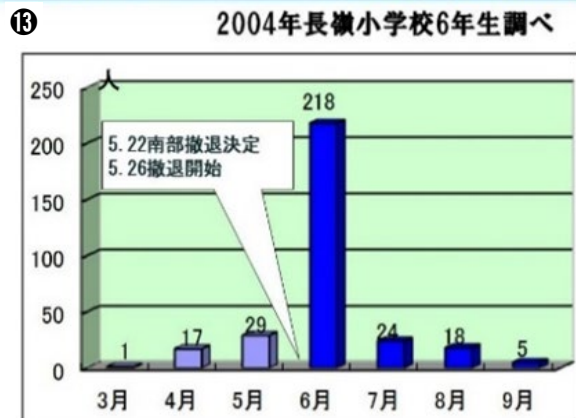
②南部に下がり  
戦う(南部撤退)





(2)【南部撤退】の第1の命令(5月22日)で何が起きたか

1945年 長嶺小校区での月別死者数



(3)6月19日 摩文仁司令部壕での作戦命令

「最後まで 敢闘し、悠久の大義に生くべし」(第2の命令)で沖縄戦が終わったのはいつか?

- ①6月22日または23日(牛島満の命日、沖縄県慰霊の日)
- ②8月15日(大日本帝国がポツダム宣言を受け入れたことを天皇が国民にラジオ発表した日)
- ③8月15日より後

沖縄戦が軍隊として戦闘が終わったのは「月 日」

牛島満辞世の句「秋待たで 枯れ行く島の青草は 皇国の春に甦らなむ」

(4)もし、1945年8月に日本が連合国ポツダム宣言を受諾=敗戦を認めていなかったら

⑩ 本土決戦の米軍上陸予定地 1945年7月



⑪ アメリカ軍 関東方面地上決戦構想図



4. 沖縄県の小学6年生、祖父母からの戦争体験の聞き取り

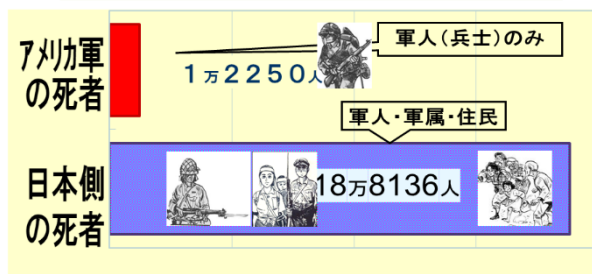
5. まとめ 今、沖縄戦から何を学び、何を伝えるか?

- ・意見の違いを戦争(武力)でなく、人間の知恵(対話)で解決すること。
- ・戦争を起こすのは人間、止めることができるのも私たち人間。

②数字で見る沖縄戦

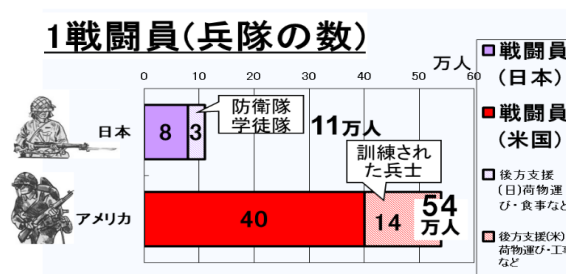
(1)沖縄戦で亡くなった人の数

⑩-1 沖縄戦で亡くなった人の数



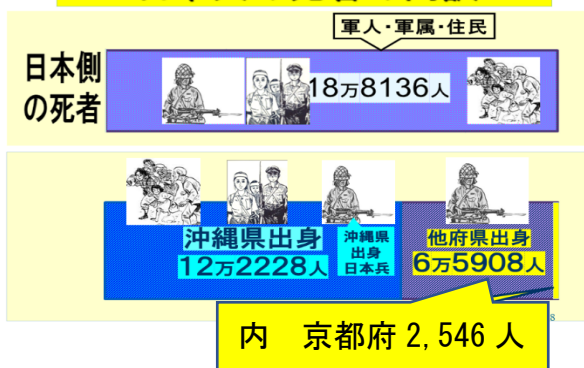
(2)日本軍とアメリカ軍の戦力を比べる

⑩-1 日本軍とアメリカ軍の戦力を比べる





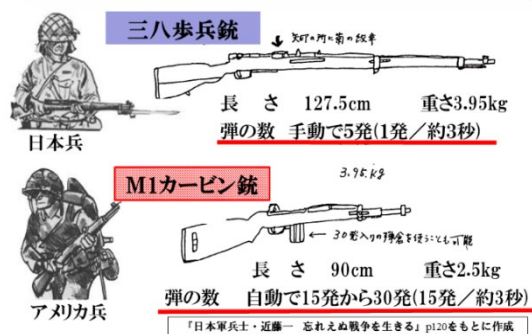
## 17-2 日本人の死者の内訳



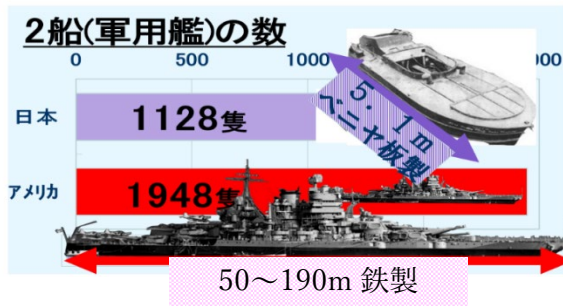
## 日本人死者の内訳



## 18-2 日本軍とアメリカ軍の戦力を比べる(2)



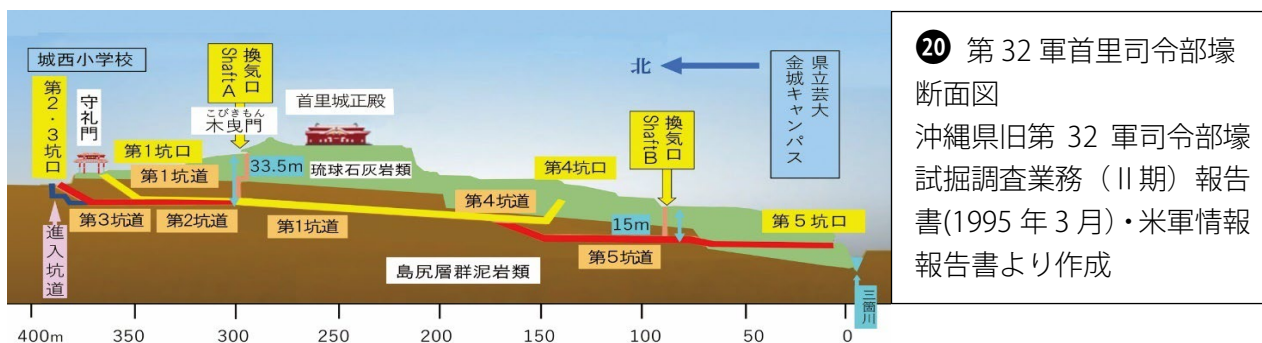
## 18-3 日本軍とアメリカ軍の戦力を比べる(3)



## 3 第32軍首里司令部壕の保存・公開に向けて



19 第32軍首里司令部壕平面図と航空写真 沖縄県旧第32軍司令部壕試掘調査業務(Ⅱ期)報告書(1995年3月)・米軍情報報告書より作成



20 第32軍首里司令部壕断面図  
沖縄県旧第32軍司令部壕試掘調査業務(Ⅱ期)報告書(1995年3月)・米軍情報報告書より作成